

# 景況・経営動向調査結果

平成23年度 第4四半期（1～3月期）

## 目 的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

## 調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社  
（回答245社、回収率61.3%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

## 調査期間

平成24年3月1日～4月10日

## 調査方法

郵送・E-mailによるアンケート方式

## 分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

1～3月期実績は、全産業ベースで 36.8〔前回調査比+3.6〕

4～6月期の見通しは、全産業ベースで 26.9〔今期実績比+9.9〕

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業・非製造業ともにマイナス幅が縮小し、全産業ベースでは 36.8（前回（12月）調査比+3.6）と3期連続で改善した。

一方4～6月期の見通しは、製造業で3.9ポイントの改善、非製造業では10.6ポイントの改善が見込まれており、全産業ベースでは 26.9と9.9ポイントの改善見込みとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

1～3月期実績は、全産業ベースで 34.1〔前回調査比+2.0〕

4～6月期の見通しは、全産業ベースで 24.6〔今期実績比+9.5〕

売上・生産額	今期実績	24.5 (+8.8)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
利益・採算面	今期実績	30.5 (+7.3)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
資金繰り	今期実績	17.8 (+7.5)	来期は製造業で改善、非製造業では悪化見込み
設備投資	今期実績	26.6 (+1.1)	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
雇用状況	今期実績	1.6 (+3.0)	来期は過剰感が強まる見込み
経営上の問題点	全産業ベースで12期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ		

上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 自社業況の総合判断：前年同期比

	1～3月期 実績		4～6月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 34.1		▲ 24.6
製造業		▲ 50.0		▲ 20.0
非製造業		▲ 32.3		▲ 25.1
建設業		▲ 47.1		▲ 34.3
卸売業		▲ 27.6		▲ 24.1
小売業		▲ 31.6		▲ 30.3
サービス業		▲ 27.8		▲ 15.5
小規模企業等		▲ 35.9		▲ 31.2

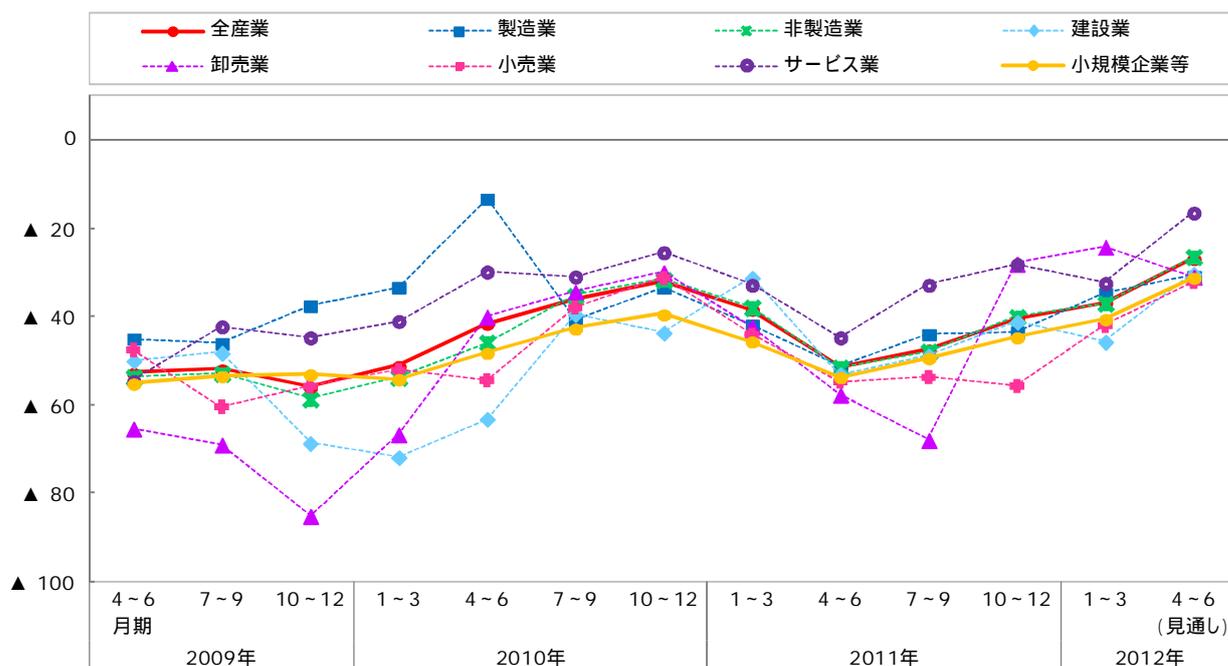
- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

前年同期（2011年1～3月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	2012年4～6月期 見通し
全産業 36.8〔前回調査比+3.6〕	全産業 26.9〔今期実績比+9.9〕
業種別にみると製造業で 34.7（同+8.8）と改善した。一方、非製造業では建設業（同-4.5）、サービス業（同-4.3）で悪化したものの、小売業（同+13.7）の大幅改善もあり、37.0（同+3.0）と改善した。結果、全産業ベースでは3期連続で改善した。 また、小規模企業等は 40.6（同+4.1）となり、3期続けて改善した。	製造業で 30.8と今期と比べて3.9ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業では卸売業（同-6.8）以外の業種で改善が見込まれており、26.4と今期実績比10.6ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは9.9ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 31.2と今期と比べ9.4ポイントの改善を見込んでいる。

B S I :「上昇」-「低下」



前期（2011年10～12月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	B S I :「上昇」-「低下」
全産業 32.6〔前回調査比-9.2〕	
業種別にみると製造業は 34.7（同+4.5）と改善した。一方、非製造業では卸売業（同+3.8）以外の業種で悪化し、中でも小売業（同-15.7）と建設業（同-15.2）の悪化幅が大きく、非製造業全体では 32.4（同-10.8）と3期ぶりに悪化した。 また、小規模企業等は 38.6（同-8.4）となり3期ぶりに悪化した。	

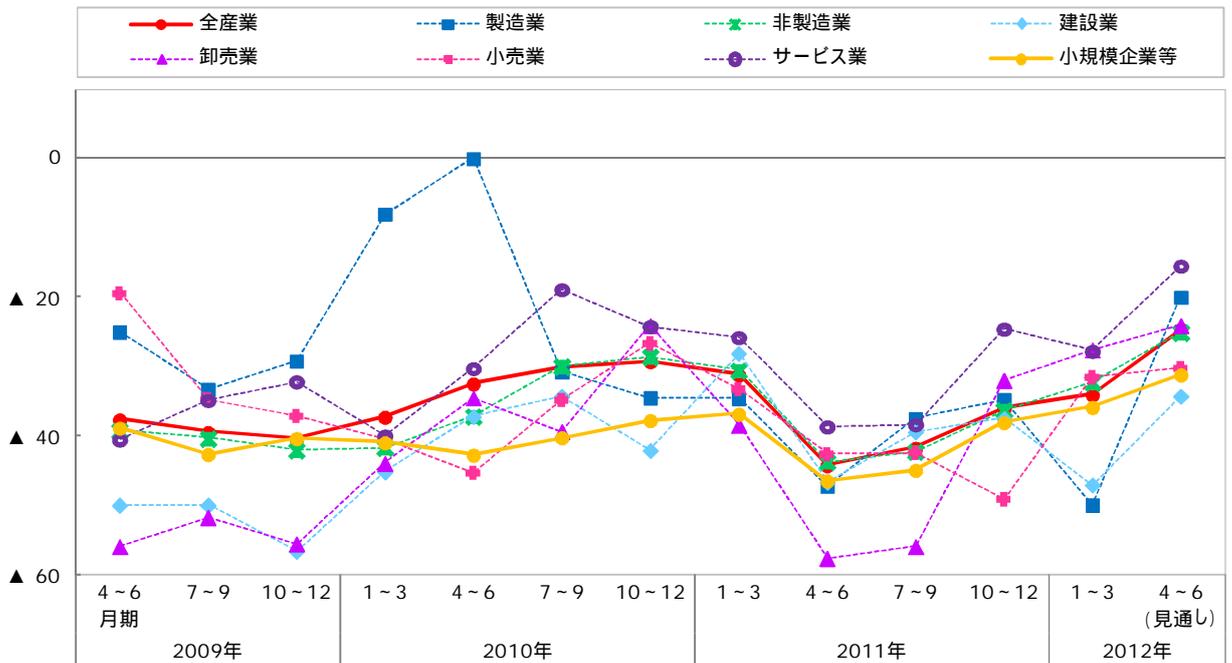
2

自社業況の総合判断

前年同期（2011年1～3月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	2012年4～6月期 見通し
全産業 34.1〔前回調査比+2.0〕	全産業 24.6〔今期実績比+9.5〕
業種別にみると製造業は 50.0（同-15.2）と大きく悪化し、過去最低値となった。一方、非製造業では小売業（同+17.6）の大幅改善もあり、32.3（同+4.0）と改善した。結果、全産業ベースでは3期続けてマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 35.9（同+2.2）と3期連続で改善した。	製造業は 20.0と今期と比べて30.0ポイントもの大幅な改善が見込まれる。一方、非製造業では全ての業種で改善が見込まれ、25.1と7.2ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは9.5ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 31.2と今期と比べて4.7ポイントの改善を見込んでいる。

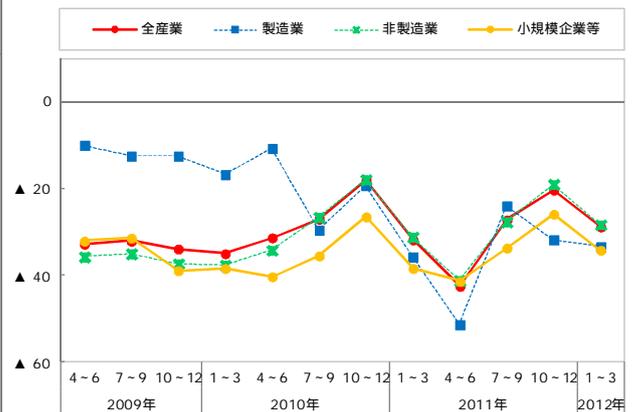
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2011年10～12月期）と比較して

2012年1～3月期 実績
全産業 28.8〔前回調査比-8.5〕
業種別にみると製造業は 33.4（同-1.6）と2期連続で悪化した。一方、非製造業では卸売業（同+7.3）以外の業種で悪化し、とりわけ建設業（同-23.5）の悪化幅が大きく、28.3（同-9.3）と悪化した。結果、全産業ベースではマイナス幅が拡大した。 また、小規模企業等は 34.2（同-8.3）と悪化した。

B S I : 「上昇」 - 「低下」



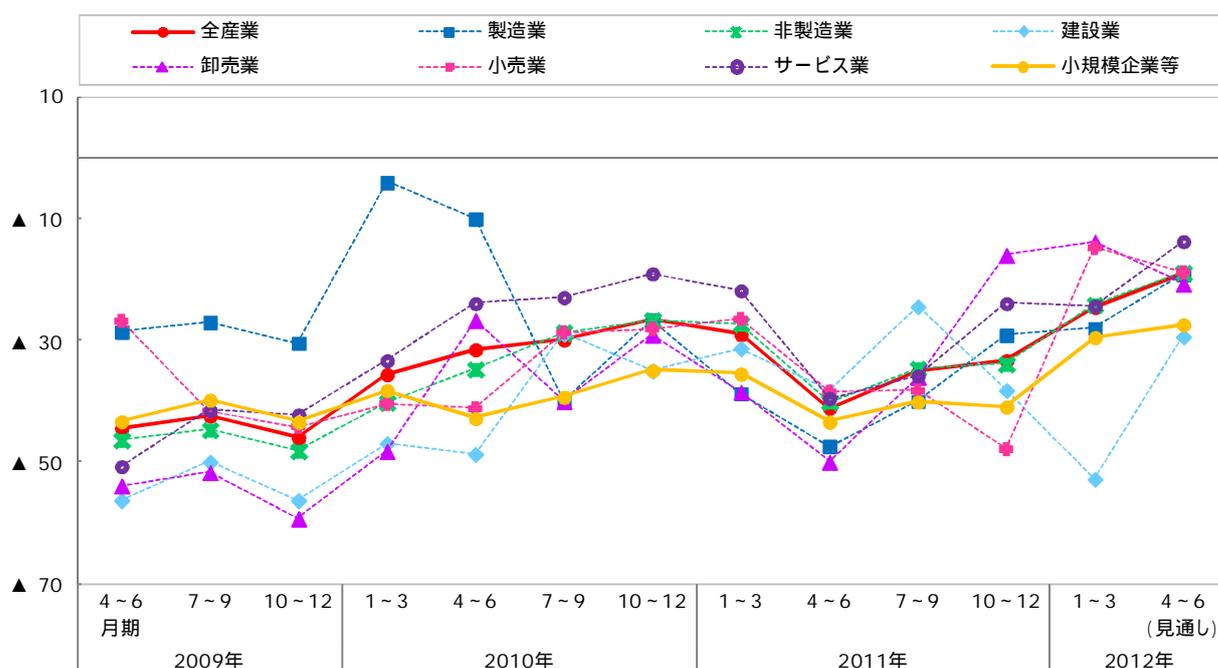
### 3

## 売上・生産額

### 前年同期（2011年1～3月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	2012年4～6月期 見通し
全産業 24.5〔前回調査比+8.8〕	全産業 19.1〔今期実績比+5.4〕
業種別にみると製造業は 28.0（同+1.1）と改善した。一方、非製造業では建設業（同-14.6）で大きく悪化したものの、小売業（同+33.1）の大幅改善もあり、24.1（同+9.8）と改善した。結果、全産業ベースでは3期連続で改善した。 また、小規模企業等は 29.5（同+11.4）と大幅に改善した。	製造業で 19.2と今期と比べて8.8ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業では建設業（同+23.4）で大幅な改善が見込まれるなど、18.9と5.2ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.4ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 27.4と今期と比べて2.1ポイントの改善を見込んでいる。

B S I : 「増加」 - 「減少」



### 前期（2011年10～12月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	B S I : 「増加」 - 「減少」
全産業 22.5〔前回調査比-6.0〕	
業種別にみると製造業は 27.0（同+2.1）と改善した。一方、非製造業では小売業（同+1.4）以外の業種で悪化し、とりわけ建設業（同-20.6）の悪化幅が大きく、21.9（同-7.1）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは悪化した。 また、小規模企業等は 29.5（同-2.6）と悪化した。	

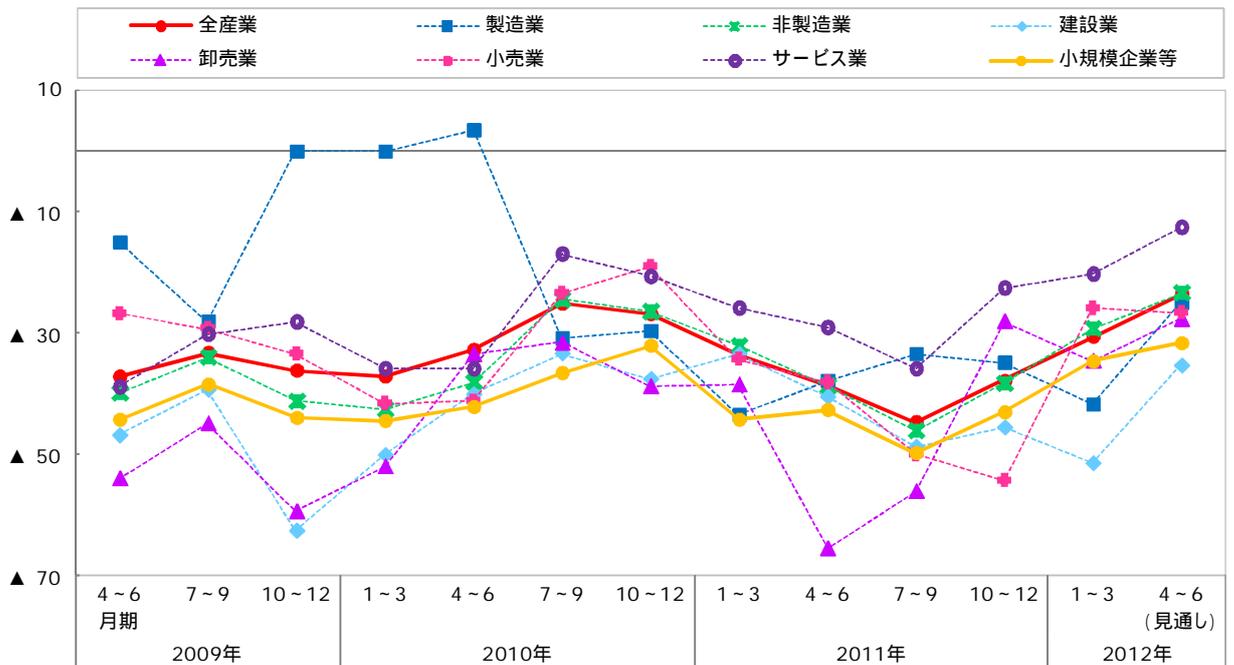
4

利益・採算面

前年同期（2011年1～3月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	2012年4～6月期 見通し
全産業 30.5〔前回調査比+7.3〕	全産業 23.5〔今期実績比+7.0〕
<p>業種別にみると製造業は 41.7（同 - 6.9）と2期連続で悪化した。一方、非製造業では小売業（同 + 28.4）の大幅改善もあり、非製造業全体では 29.2（同 + 9.0）と改善した。結果、全産業ベースでは2期続けてマイナス幅が縮小した。</p> <p>また、小規模企業等は 34.6（同 + 8.4）と2期連続で改善した。</p>	<p>製造業で 25.0と今期と比べて16.7ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業では建設業（同 + 16.1）で大幅な改善が見込まれるなど、非製造業全体では 23.3と5.9ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは7.0ポイントの改善見込みとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 31.6と今期と比べて3.0ポイントの改善を見込んでいる。</p>

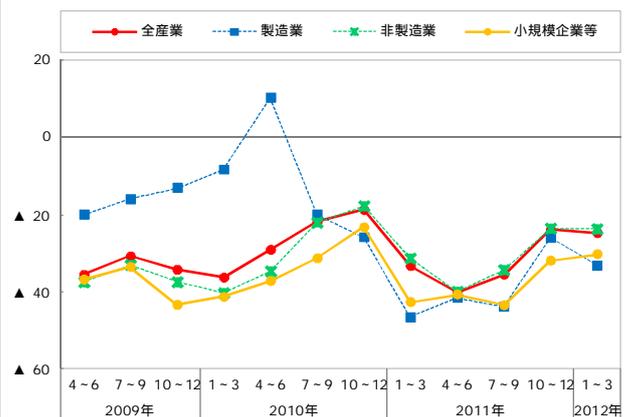
B S I :「好転」-「悪化」



前期（2011年10～12月期）と比較して

2012年1～3月期 実績
全産業 24.8〔前回調査比-0.8〕
<p>業種別にみると製造業は 33.3（同 - 7.2）と悪化した。一方、非製造業ではサービス業（同 - 12.0）以外の業種で改善したものの、サービス業の大幅悪化が響き、非製造業全体では 23.8（同 - 0.1）と横ばい。結果、全産業ベースでは3期ぶりに悪化した。</p> <p>また、小規模企業等は 30.3（同 + 1.7）と小幅改善となった。</p>

B S I :「好転」-「悪化」

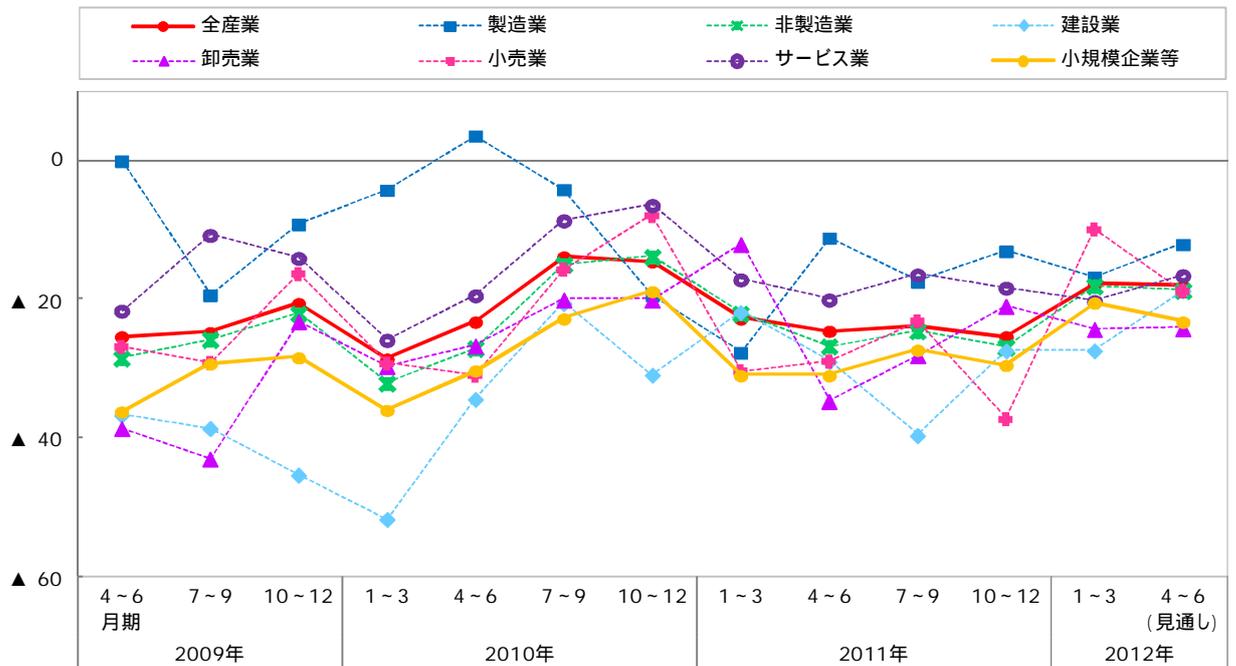


5 資金繰り

前年同期（2011年1～3月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	2012年4～6月期 見通し
全産業 17.8〔前回調査比+7.5〕	全産業 18.0〔今期実績比-0.2〕
業種別にみると製造業で 16.7（同-3.7）と悪化した。一方、非製造業では小売業（同+27.3）で大幅に改善したことから、非製造業全体では 29.2（同+9.0）と改善した。結果、全産業ベースではマイナス幅が縮小した。 また、小規模企業等は 20.4（同+9.0）と改善した。	製造業は 12.0と今期と比べ4.7ポイントの改善が見込まれる。一方、非製造業では小売業（同-8.9）以外の業種で改善が見込まれるものの、18.7と0.7ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは、0.2ポイントの悪化見込みとなった。 また、小規模企業等は 17.6と今期と比べて0.4ポイントの悪化を見込んでいる。

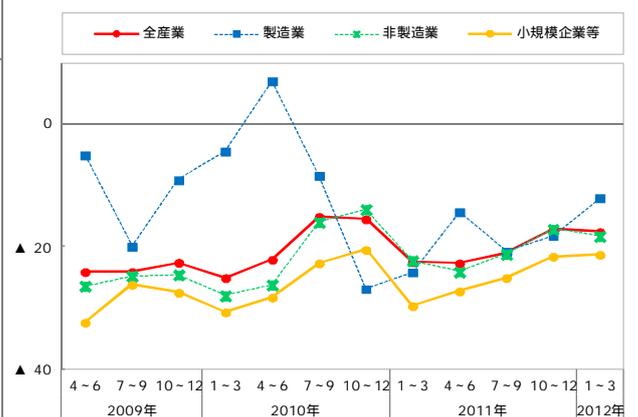
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2011年10～12月期）と比較して

2012年1～3月期 実績
全産業 17.6〔前回調査比-0.4〕
業種別にみると製造業は 12.0（同+6.2）と改善した。一方、非製造業では卸売業（同-10.2）、サービス業（同-9.0）の悪化などから、非製造業全体では 18.3（同-1.2）と悪化した。結果、全産業ベースでは3期ぶりに悪化した。 また、小規模企業等は 21.3（同+0.3）と僅かながら4期連続で改善した。

B S I : 「好転」 - 「悪化」

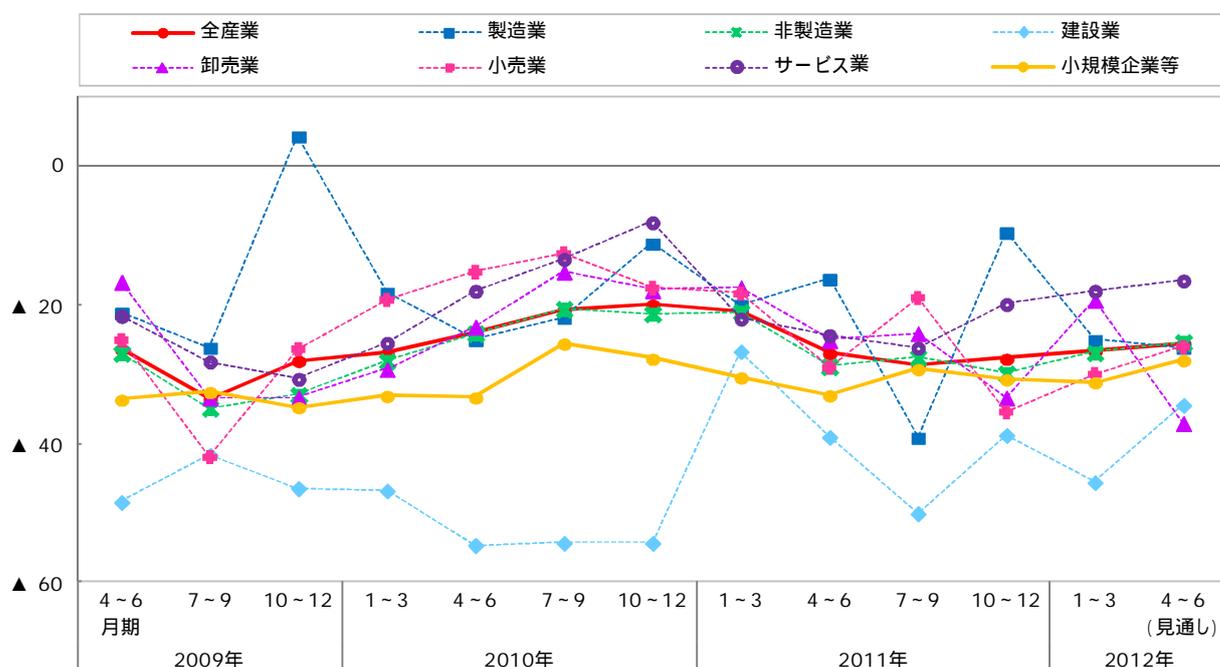


6 設備投資

前年同期（2011年1～3月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	2012年4～6月期 見通し
全産業 26.6〔前回調査比+1.1〕	全産業 25.4〔今期実績比+1.2〕
<p>業種別にみると製造業は 25.0（同 - 15.5）と大幅に悪化した。一方、非製造業では建設業（同 - 6.8）以外の業種で改善し、とりわけ卸売業（同 + 14.1）の改善幅が大きく、26.8（同 + 3.0）と改善した。結果、全産業ベースでは2期連続で改善した。</p> <p>また、小規模企業等は 31.1（同 - 0.4）と小幅な悪化となった。</p>	<p>製造業で 26.1と今期と比べ1.1ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業では卸売業（同 - 17.8）で大幅な悪化見込みとなったが、それ以外の業種で改善が見込まれ、25.3と1.5ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは1.2ポイントの改善見込み。</p> <p>また、小規模企業等は 27.9と今期と比べて3.2ポイントの改善を見込んでいる。</p>

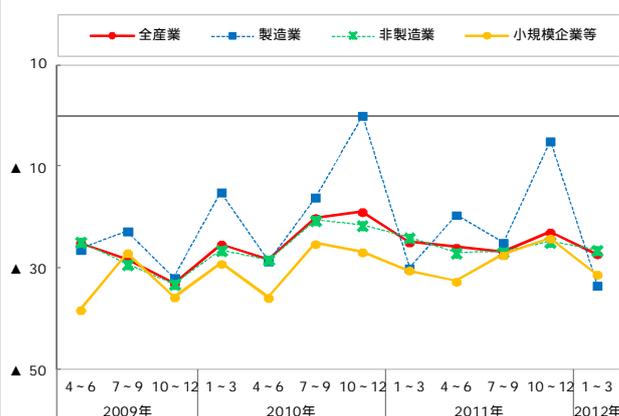
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2011年10～12月期）と比較して

2012年1～3月期 実績
全産業 27.2〔前回調査比 - 4.3〕
<p>業種別にみると製造業は 33.4（同 - 28.4）と大幅に悪化し過去最低値となった。一方、非製造業では小売業（同 + 2.1）以外の業種で悪化し、非製造業全体では 26.5（同 - 1.7）と3期ぶりに悪化した。結果、全産業ベースではマイナス幅が拡大した。</p> <p>また、小規模企業等は 31.2（同 - 7.1）と悪化した。</p>

B S I : 「増加」 - 「減少」

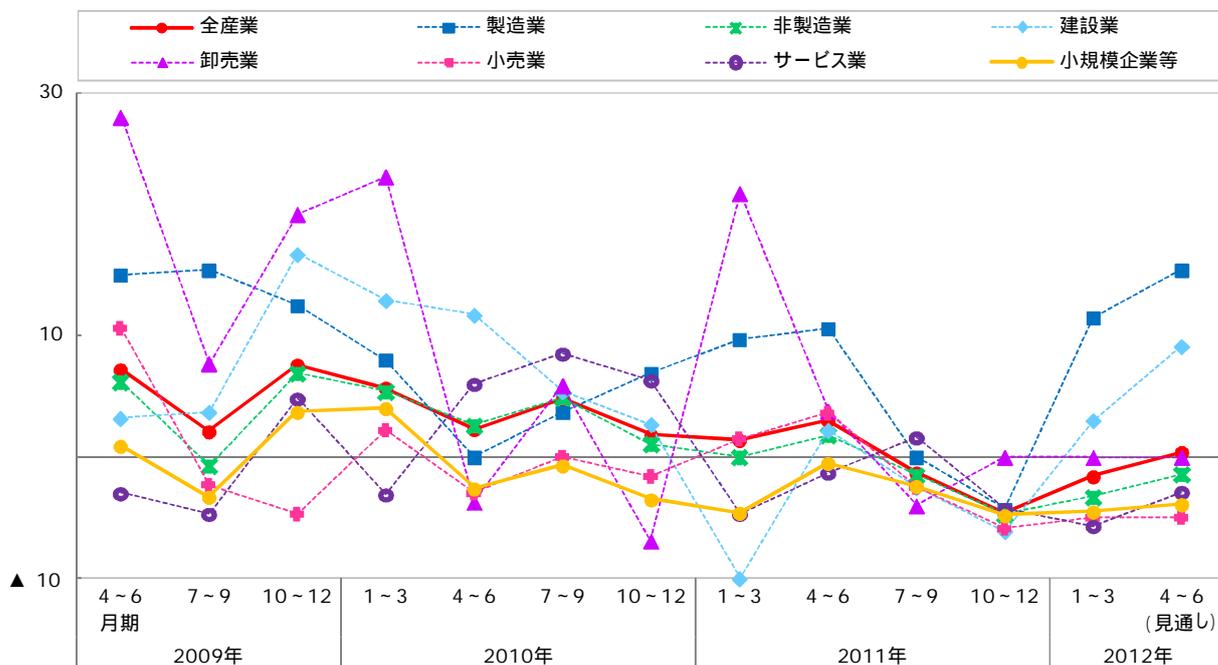


7 雇用状況

前年同期（2011年1～3月期）と比較して

2012年1～3月期 実績	2012年4～6月期 見通し
全産業 1.6〔前回調査比+3.0〕	全産業 0.4〔今期実績比+2.0〕
業種別にみると製造業は「過剰」とする割合が大幅に増え、11.5とプラス水準（「過剰」超）に転じた。一方、非製造業では建設業（同+9.1）で「過剰」とする割合が増えるなど、非製造業全体では「不足」とする割合が減少した。 また、小規模企業等は 4.5（同+0.3）と「不足」とする割合が減少した。	製造業で15.4と今期と比べて「過剰」とする割合が増える見込み。一方、非製造業では建設業で「過剰」とする割合が増えるなど、非製造業全体では 1.4と「不足」とする割合が減る見込み。結果、全産業ベースではプラス水準（「過剰」超）に転じる見通し。 また、小規模企業等では 3.9と「不足」とする割合が減る見通し。

B S I :「過剰」-「不足」



前期（2011年10～12月期）と比較して

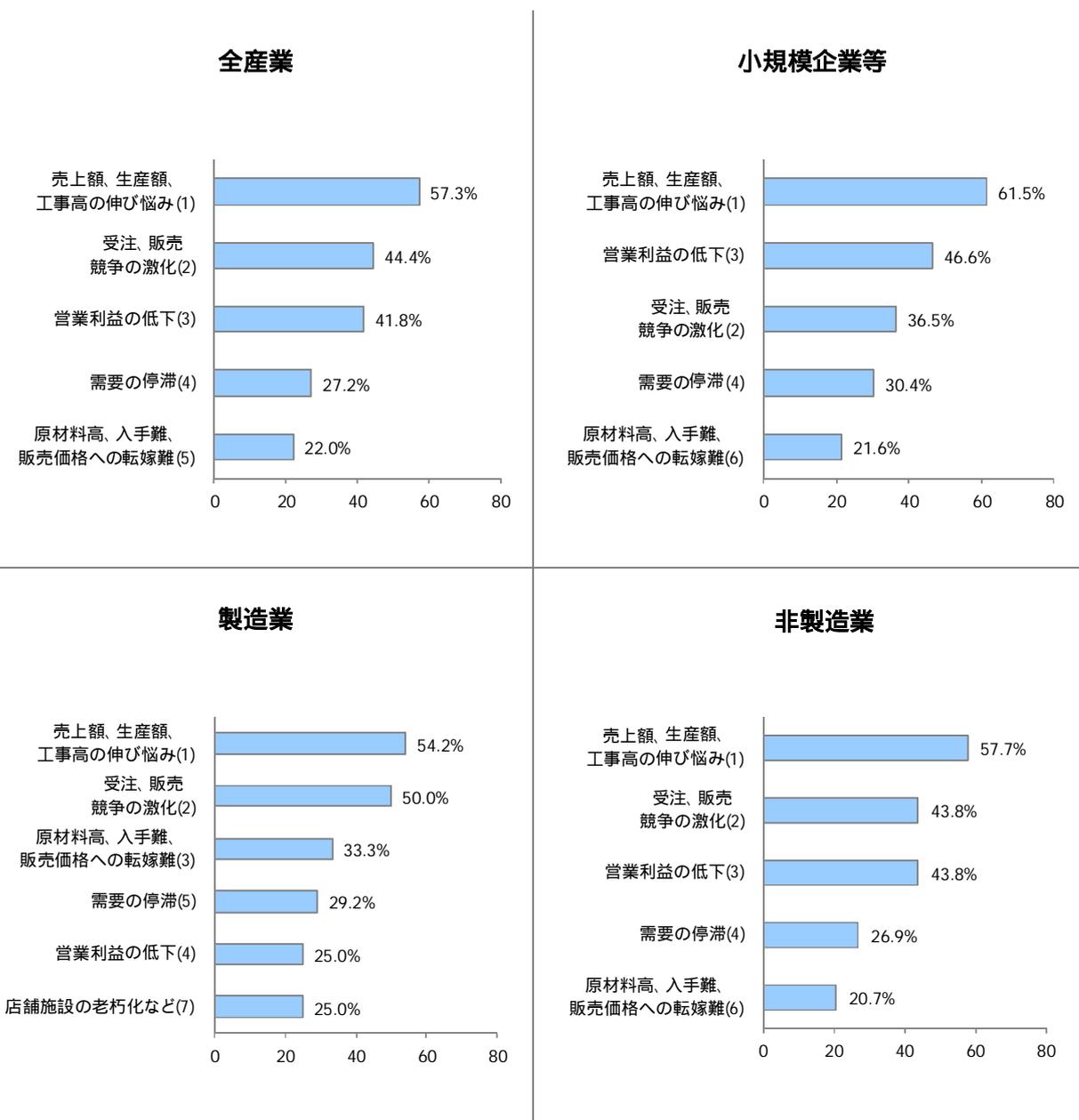
2012年1～3月期 実績	B S I :「過剰」-「不足」
全産業 1.7〔前回調査比+2.6〕	
業種別にみると製造業で「過剰」とする割合が大幅に増え、19.3とプラス水準（「過剰」超）に転じた。一方、非製造業では建設業（同+15.1）でプラス水準（「過剰」超）に転じたが、それ以外の業種で「不足」とする割合が増え、非製造業全体では 4.3と横ばい。 また、小規模企業等は 3.3（同+0.2）と「不足」とする割合が減った。	

# 8

## 経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースで見ると、トップは前回調査から1.9ポイント減少したものの2009年4～6月期の調査開始以来12期連続で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（57.3%）」となった。全ての業種で回答割合が最も高く、根深い問題点となっている。

その他の特徴的な傾向として、「原材料高、入手難、販売価格への転嫁難」が製造業で第3位、非製造業・小規模企業等でも第5位となるなど回答割合が増えた。また、製造業では「店舗施設の老朽化」の回答割合が増え、「営業利益の低下」と同率で第5位となった。



各項目の括弧内の数字は前回（12月）調査時の順位

## 現時点（平成24年3月）での影響

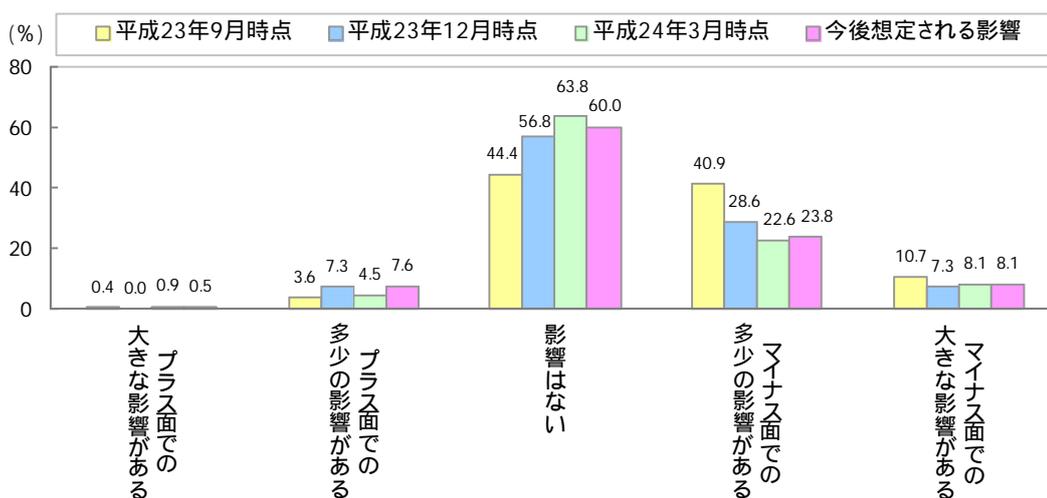
回答があった221社のうち「大きな影響がある」が9.0%（前回調査比+1.7）、「多少影響がある」が27.1%（同-8.8）、「影響はない」が63.8%（同+7.0）で、影響の度合いは前回調査より小さくなった。

影響の中身を見ると、商品・資材等の入手難や原材料高など「マイナス面での多少の影響がある」が22.6%と最も多かった。一方で代替需要などから「プラス面での多少の影響がある」との回答もみられた。

## 今後想定される影響

今後想定される影響としては、「大きな影響がある」が8.6%、「多少影響がある」が31.4%、「影響はない」が60.0%となった。

影響の中身を見ると、仕事量の減少や資材の高騰など建設業を中心に「マイナス面での多少の影響」が現時点より僅かに強まるものの、代替需要や売上増加が期待されるなど小売業やサービス業では「プラス面での多少の影響」が増える見通し。なお、製造業ではプラス面、マイナス面の両方で回答割合が増えている。



Q1. 現時点(平成24年3月)での影響

(単位:社、%)

	回答数	大きな影響がある			多少影響がある			影響はない
		プラス	マイナス	プラス	マイナス			
全産業	221	9.0	0.9	8.1	27.1	4.5	22.6	63.8
製造業	21	4.8	0.0	4.8	38.1	0.0	38.1	57.1
非製造業	200	9.5	1.0	8.5	26.0	5.0	21.0	64.5
建設業	30	13.3	0.0	13.3	20.0	0.0	20.0	66.7
卸売業	25	20.0	0.0	20.0	24.0	8.0	16.0	56.0
小売業	76	9.2	1.3	7.9	34.2	6.6	27.6	56.6
サービス業	69	4.3	1.4	2.9	20.3	4.3	15.9	75.4
小規模企業等	137	8.0	0.0	8.0	24.1	3.6	20.4	67.9

Q2. 今後想定される影響

(単位:社、%)

	回答数	大きな影響がある			多少影響がある			影響はない
		プラス	マイナス	プラス	マイナス			
全産業	210	8.6	0.5	8.1	31.4	7.6	23.8	60.0
製造業	18	5.6	0.0	5.6	50.0	5.6	44.4	44.4
非製造業	192	8.9	0.5	8.3	29.7	7.8	21.9	61.5
建設業	27	18.5	0.0	18.5	37.0	0.0	37.0	44.4
卸売業	27	22.2	3.7	18.5	29.6	3.7	25.9	48.1
小売業	72	6.9	0.0	6.9	33.3	11.1	22.2	59.7
サービス業	66	1.5	0.0	1.5	22.7	9.1	13.6	75.8
小規模企業等	128	7.8	0.0	7.8	28.1	4.7	23.4	64.1